

移住施策の充実を

町長 お試し移住ツアーなど実施、令和元年度の移住者は218人



録画を配信

移住促進の状況は

問 移住促進への取り組みについて、これまでの成果と状況は。

町長 移住者の受け入れ体制整備、住まいを確保する取り組み、就農移住者の支援などを総合的に実施するほか、SNSによる情報発信やお試し移住ツアーなどを実施している。

令和元年度の移住受入実績は218人。今年度は10月末で112人、前年比で同程度。移住者が増えることで、地域にどのような影響が期待できるか。



横山和浩議員

町長 地域の担い手不足の解消や就農・起業などによる新たな仕事の創出、空き家の活用などが期待される。

さらには、外の目で改めて地域を見知ること、ひいては地域の活性化につながる。人口減少対策としての移住だけでなく、波及効果も見込んだうえでの取り組みを実施している。

今後の方針

問 コロナ禍により、地方移住の希望者が増えているとの報道がある。今後の方針は。

コロナ禍により、地方移住の希望者が増えているとの報道がある。今後の方針は。

町長 オンライン移住相談会などにより本町をPRし、移住促進を図りたい。そのほか民間賃貸住宅の供給支援の継続、今後実施する公営の子育て世帯等向け賃貸住宅の整備などにより、若者の転出抑制や移住促進に努める。

情報発信

問 町の移住関連サイト「しらたかで暮らそう」に、まちの息吹が伝わるような情報も載せてはどうか。

町長 町平均1200件ほどの閲覧数で推移している。おっしゃる内容は検討したい。

問 ウェブサイトに1年以上前の情報が掲載されているが、維持管理ルールは、

商工観光課長 マニュアルはない。



交流を楽しむ2019年お試し移住ツアー

移住後の支援

問 移住後の支援は、

白鷹町ふるさと移住推進協議会、移住コンシェルジュにより、移住後も含めて相談や移住者に対する細やかな対応を行っている。

商工観光課長

国・県のポータルサイトには、基礎的な情報のみ掲載しており、更新はしていない。町のサイトをリンクする